

新潟県新潟市 今町会館ビル（スナック・エル・アドロ）



1. 火災の特色

この火災は、鉄骨造3階建ての店舗併用住宅の2階スナック「エル・アドロ」の出入口通路付近から出火したものである。関係者による初期消火、避難誘導等適切な措置がなく、内装仕上材に可燃性のものが使用されていたため、多量の有毒ガスが発生し、出火点が出入口付近であったため避難路が絶たれ、死者11名、負傷者2名を出す惨事となった。

2. 出火日時等

(1) 出火日時

昭和53年3月10日（金）0時09分頃

(2) 覚知日時（覚知方法）

昭和53年3月10日（金）0時11分（119番通報）

(3) 鎮火日時

昭和53年3月10日（金）0時50分

3. 火元の概要

(1) 所在地

新潟県新潟市古町通り9番町1467番地

(2) 火元建物等の名称

今町会館ビル

ラテンパブ：「スナック・エル・アドロ」

(3) 火元建物の構造等

① 建築年月日

昭和41年 9月13日

② 建物用途

特定複合用途（16項イ）

③ 構造

鉄骨造（簡易耐火造 3階建）

④ 面積

建築面積：126.1㎡

延べ面積：341.9㎡

⑤ 出火時の在館者数

ア 従業員 3名

イ 来客者 20名

計23名

⑥ テナント数

8店舗

⑦ 建物階層別用途及び面積

階	面積	用途
3	105.3㎡	ビル所有者の住宅
2	110.5㎡	スナック（2店）
1	126.1㎡	スナック バー 割烹
合計	341.9㎡	

⑧ その他

火災発生時、3階の住宅には居住者はいなかった。

(4) 消防用設備等の設置状況

① 消火設備

厨房内に粉末消火器10型 1本設置

② 警報設備

なし

③ 避難設備

なし

(5) 防火管理の状況

① 防火管理者

未選任

② 消防計画

未届出

③ 避難訓練

行われていない

4. 気象状況

(1) 天候

曇り

(2) 風位、風速

風位：南東、風速：4.7m/s

(3) 気温、湿度

気温：5.5℃、相対湿度：60%、実効湿度：66%

(4) 警報・注意報、特異事項

なし

5. 出火原因

(1) 発火源

出入口付近のスポットライト用（照明用）電源コード

(2) 経過

天井裏で出火し、天井部に着火したもの。

(3) 着火物

内装材として用いた合板

6. 損害状況

(1) 人的被害状況

① 死者

11名（男5名、女6名）

② 負傷者

男2名

(2) 物的損害

① 火元建物

ア 焼損程度 半焼

イ 焼損面積 78m²

（ 2階部分103.6m²のうち78m²焼損
3階部分の一部焼損

ウ 損害額 10,483千円

② 類焼建物

なし

7. 火災の経過（火災の様態）

(1) 出火場所等の状況

2階のスナック エル・アドロには、20名の客と店員3名の合計23名がいた。

(2) 出火に至るまでの経過

天井裏の照明の電源コードが漏電によりショートし、天井裏で出火したと推定される。次に、天井部へ延焼し、通路空間へ燃え広がった。

(3) 火災発見の経緯

調理台の脇にいた従業員がまず気づき、確認に行った同店の支配人が出入口通路の方へ行った所で、天井から火が出ているのを発見した。

(4) 消防機関への通報状況

出火の約3分後、エル・アドロの従業員の「火事だ」という叫び声で、同建物1階の割烹料理店の者が119番により消防機関へ通報した。

(5) 初期消火の状況

従業員から火災を知らされた支配人が、通路で火点を確認し、同階にある割烹で水バケツに水を汲み消火を試みたが、効果はなかった。またスナック店内の消火器は使用された様子はあるが、薬剤は2/3が残っていた。

(6) 火災拡大の状況

通路の内装材として合板張りの上にアクリル系ハイパイル（レーヨンによる布地に、アクリル繊維を毛状に取りつけたもの）を張った可燃性の壁装材料を使用していたので、天井部の燃焼とともに、通路空間を激しく燃え広がり、店内との区画がなかったため、店内へと拡大していった。

(7) 避難の状況

出火時、店内には、男子従業員3名と客20名の計23名がいた。

階段へ通じる出入口は1箇所だけだった。その出入口への通路から出火したため、早い時期に気付いて脱出した9名（従業員1名、客8名）を除き、階段での避難が不可能となった。

(8) 自衛消防隊の活動状況

自衛消防隊はなく、消火活動は行われなかった。

(9) 死者の状況

死者11名が健常者であったにもかかわらず、飲酒状態であったために避難が出来なかったと考えられる。便所へ逃げこんだ7名のうち、3名は窓から脱出したが、残りの4名は自力避難できずに死亡した。また、更衣室で4名、出入口付近で1名が死亡している。

8. 消防機関の活動状況

(1) 出動隊等

① 出動車両

消防ポンプ車 10台（7台は水槽付）

小型動力ポンプ 5台

救助工作車	2台
計	17台
② 出動人員	
消防職員	63名
消防団員	50名
計	113名

(2) 消防機関の消火・救助活動の状況

消防隊到着時、店内に5～6人逃げ遅れた者がいるとの情報を得て、火勢制圧を行いながら屋内に進入し、0時30分頃、調理場で4人、便所内に4人、更衣室で2人、出入口で1人を発見した。

9. 問題点・教訓

- (1) 不特定多数の者が出入りする防火対象物の関係者に対して、早期通報、初期消火、避難誘導訓練等、防火教育の徹底を図る必要がある。
- (2) 小規模なバー、スナックは、昼間無人であることが多く、査察が効率的に行われないことが多い。今後バー、スナック等の実態の把握に努めることが肝要である。
- (3) 一つの階段しかない対象物の二方向避難の確保と、防災物品の使用を徹底すること。

10. 資料

図-1：配置図

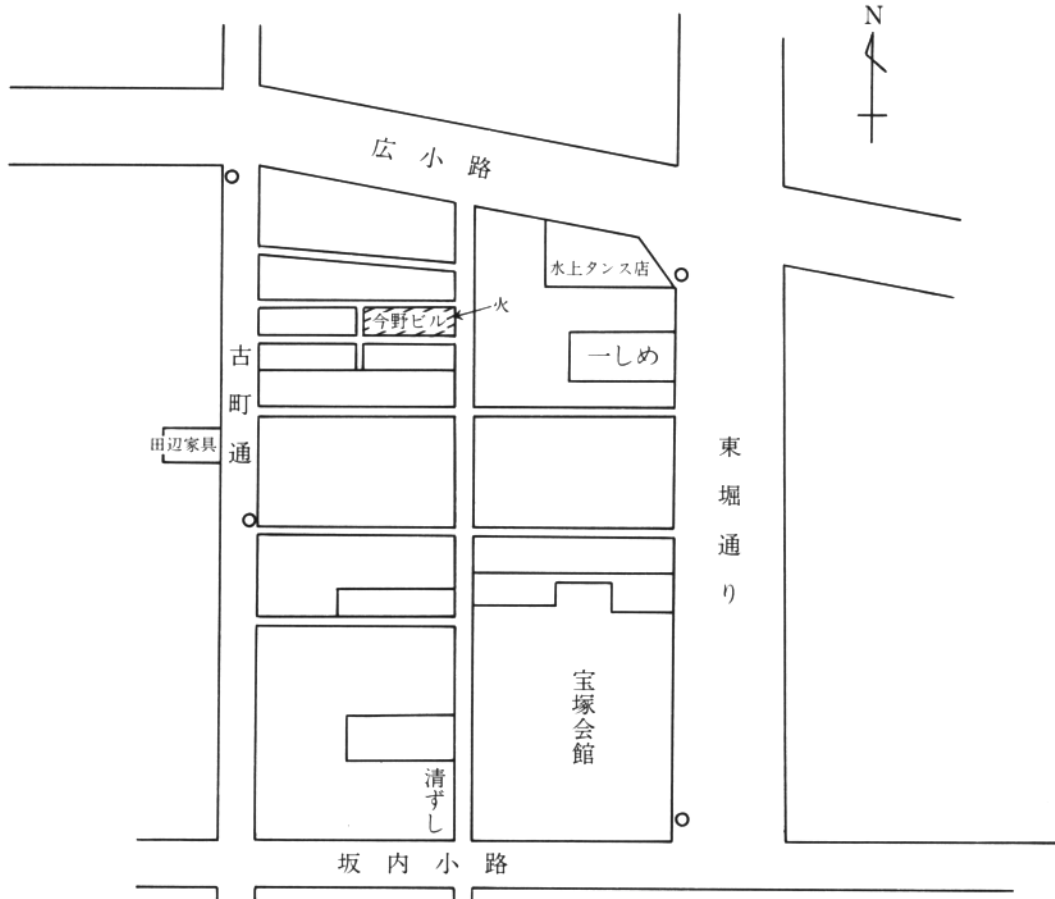
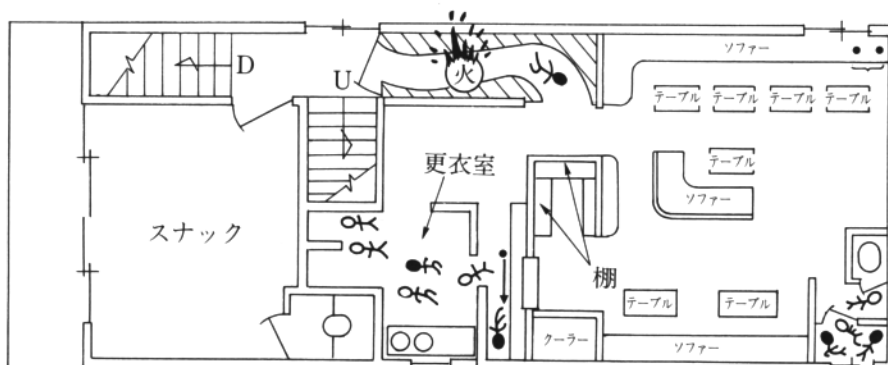


図-2：2階平面図



♂ は男性
♀ は女性